

# 発見かんづま

— 北から南から —

## 埜水門

旧水門は明治34年筑後川と田手川の最下流で、千代田町黒津地域と福岡県城島町浮島地区の合流点に造られた大樋門です。

田手川4km付近まで潮の干満の影響を受ける為、塩害と筑後川の逆流を防止する目的で造られたものです。

水門は、レンガと石材ブロックで築造され、扉は木製の観音開扉の二門が取り付けられています。

この水門は、構造的に数少ない水門の形式です。田手川改修と同時に改修され現在の水門となり、その一部を永久的に保存する為に、平成5年建設省の手により、次郎の森公園に移築されています。



旧埜水門



現在の埜水門



次郎の森公園に移築された旧埜水門

## 編集後記

平成20年3月の定例議会は25日間の会期で開催され、一般質問には19名の議員が登壇し、活発な議論が交わされました。

神崎市政3年目を迎え、真新しい園舎『ちよだ保育園』も完成し、4月3日には新園児161名を迎え、輝かしいスタートをきりました。

厳しい財政のなかですが、心を感じました。議員一同新たな気持ちで、『自然と歴史と人が輝く未来都市』作りに頑張ってください。ご愛読宜しくお願致します。

〈古賀、記〉

〃	〃	委員	副委員長	委員長	広報委員
古賀	田原	白石	角田	福田	清道
安行	和幸	昌利	晴義		